

水質事故等の発生状況

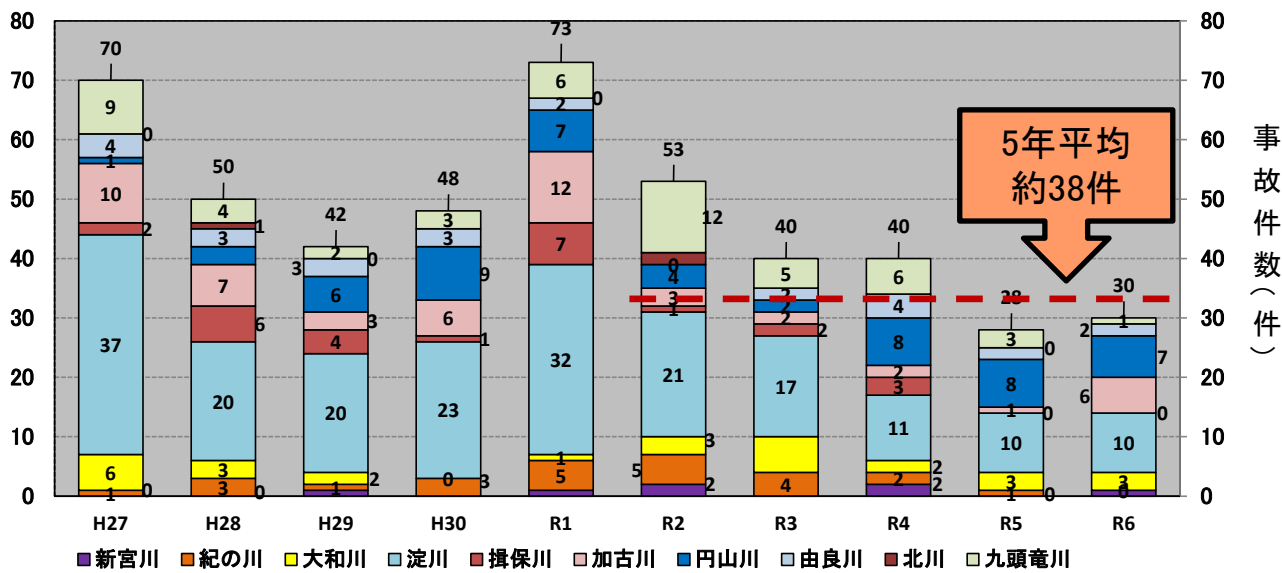
令和6年に近畿地方整備局管内で30件の水質事故が発生しました。

近畿地方整備局管内（※）の直近5年（R2～R6年）における平均の水質事故件数は38件ですが、令和6年は30件であり、この平均値を下回っています。

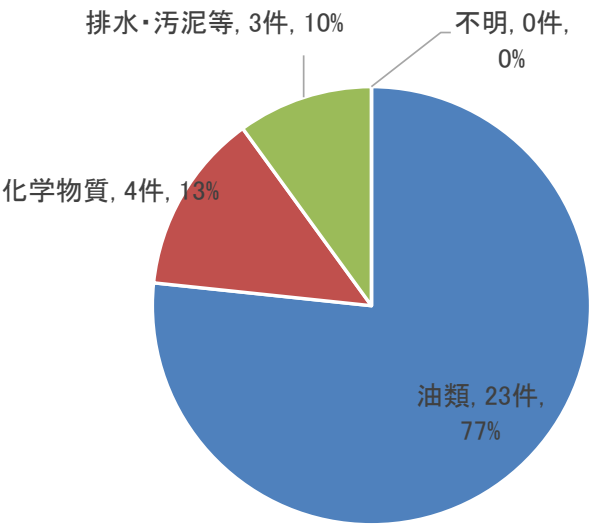
水質事故の種類別では油類によるものが最も多く、全体の77%を占めています。事故原因が判明した水質事故をみると、その原因は交通事故が7件（23%）と最も多く、次いで機械の故障が6件（20%）、工場等での操作ミス、不法投棄、自然現象がそれぞれ1件（3%）となっています。

※直轄河川とその流域

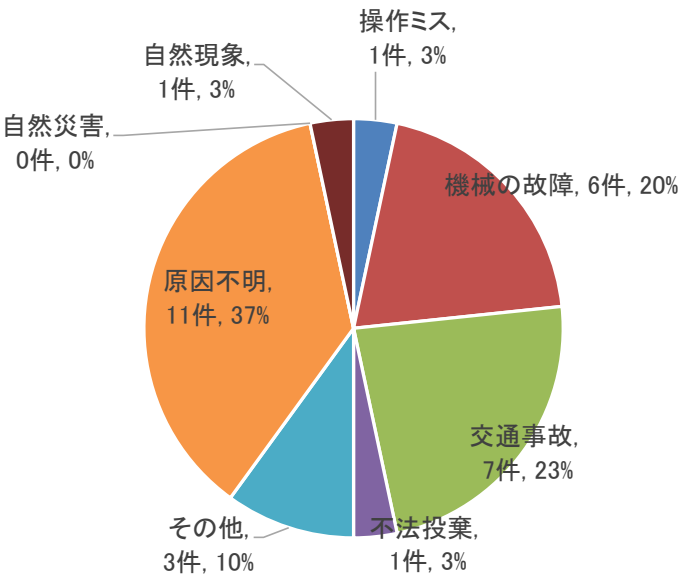
水系別経年変化



令和6年『種類』別の水質事故発生割合



令和6年『原因』別の水質事故発生割合



※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

令和6年事故「種類」「原因」別割合